



輝け！北っ子！

第2回学校評議員会を開催 ～「開かれた学校づくり」 にむけて～

18日、今年度第2回の学校評議員会を開催しました。6月に続き、2回目となった今回は今年度の学校経営の状況、保護者の皆様にもアンケートに協力いただいた「学校評価」の結果等をお話しし、学校経営についての感想や、次年度に向けてのご意見をいただきました。評議員の皆様（加藤純一様、安部玲子様、長井周子様、関健至様、後藤大介様）からは、以下のような感想・ご意見をいただきました。



※感想■意見・要望

○コロナ対応本当にお疲れ様です。コロナ禍でいろいろな制限がある中、色々と行事・活動を実施していただき感謝している。子どもたちが元気で笑顔で通っていることを嬉しく思う。

○学校休業期間中、子どもたちから「学校へ行きたい」という声を耳にした。学校が子どもたちにとって楽しい場所、かけがえのない場所だと再認識した。元気で素直な子どもでいっぱいである。学校を楽しみにしている様子が伝わってくる。

○保護者のお迎えの車が学校から出て行くときに、歩道の歩行者と接触しそうになっていた。

○今年度は学校の教育活動やPTA活動に保護者がかかわる機会がほとんどなかった。次年度以降、できるところから活動を再開する必要がある。「地域」がなくなってしまうことを危惧する。

○学校だよりの積極的な発行で学校の様子が伝わってきた。ありがたい。安心できた。

○登校時のあいさつの声が大きくなったように感じる。大変気持ちのいいあいさつができるようになってきている。

■学校前の横断歩道で止まらない車が見られる。大いに注意が必要。

■保護者の駐車について、男女共生センター駐車場利用の徹底及び注意喚起が必要。

■次年度も「コロナ禍」が予想される。その中でも、思い出に残ることをできるだけ実施してほしい。子どもたち、先生方、保護者で一緒に作っていききたい。

■「子ども第一の学校」の継続を強く期待する。北小の伝統の継承を忘れないでほしい。

■先生方には、教育に対する「熱量」を期待している。

■子どもが毎日学校に来れることが大事。学校に来ていれば、なんとかなると感じる。

■自己存在感を感じている子どもの育成をよろしく願っていたい。

評議員の皆様には、お忙しい中、今年一年、委員を受けていただき本当にありがとうございます。貴重なご意見を真摯に受け止め、次年度に向けて歩を進めて参ります。

※学校評議員制度…学校教育法施行規則に定められた制度。教育に関する理解及び識見を有する方を校長が推薦し、市の教育委員会から委嘱された方々で構成され、学校運営に関し意見を出していただくという役割を担う。学校運営について保護者・地域住民の視点から広く意見をいただくことでより「開かれた学校づくり」を目指す制度。

体育専門アドバイザー 来校 ～専門的な見地から指導いただきました～

17日、19日福島県教育庁県北教育事務所の「小学校体育専門アドバイザー派遣事業」を活用し、星田弘祐先生に来ていただきました。もうすっかり、子ども達とも顔なじみ、月一度の定例活動といってもいいくらい、活用させていただいています。今回はなわとび運動を中心に指導をしていただきました。なわとび大会開催の学年もあり、子ども達の成長を見ていただくといった場面も多く見られました。本当にありがとうございました。来月にも来ていただく予定です。

